

令和5年度 大場地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

青葉区の高齢化率の増加に伴い、地域包括支援センターに認知症の相談が増えている。中には家族がギリギリまで抱え込んでいるケースがあり、相談に来られる時は状況がかなり深刻になっていることもある。一方、介護する側の子世代に相談窓口として地域ケアプラザが知られていないことも多く、周知活動は今後も引き続き取り組んでいく。認知症に関する取り組みは、あざみ野商店街と取り組んでいる「やさしい街あざみ野実行委員会」における認知症理解に関するイベント等への参加を継続し、認知症に対する理解を深めるための活動を地域の方々と共に行っていく。認知症カフェをケアプラザ以外の地域の自治会館等で開催し、住民への認知症の理解、普及に繋げるとともに、ケアプラザへの来館が困難な住民も参加できる住民主体のカフェ等の立ち上げ支援を行っていく。また、日頃の総合相談や6職種で集めた情報をマッピング等で視覚化し、地域ケア会議等を活用して課題解決に向けた取り組みを検討していく。同様に高齢者だけでなく子育て支援の現状や課題を把握するため、区や関係機関と連携し情報を共有していく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	老人会や地域活動への参加、出張講座等を通して、地域課題やニーズの把握を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	引き続き6職種会議や区とのカンファレンスの場で地域情報のマッピングを行い、集めた情報を分析し課題解決に向けた取り組みを検討する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子育て連絡会や他機関・学校関係者との会議に参加したり、引き続き各関係機関との連携を図る。地域が抱える子育ての課題に対し、地域支援者や関係機関との意見交換会を重ね、どんな形の支援が必要なのか連携し検討する。様々な障がいに対し地域とともに理解を深めともに助け合えるよう、関係機関との意見交換を行いながら取組みを考えていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症カフェを地域ケアプラザ以外で開催する等工夫し、住民が正しく認知症について理解できるよう普及啓発を行う。また、チームオレンジのモデル実施として、引き続き「やさしい街あざみ野実行委員会」への参加を継続し、キャラバンメイトとも連携ができるように支援する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	個別の地域ケア会議を開催して地域住民や専門職等の多職種で個別の課題を共有し検討する。個別を積み重ねながらコロナの影響で地域の繋がりやネットワークに課題が生じていること等を共有し、解決に向けて包括レベルの地域ケア会議の場を活用していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和5年度大場地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	ケアプラザは公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で課題解決に向けた業務運営にあたります。サービス選定等においては、選択肢を提示する等、相談者、施設利用者の意思を尊重し適切な対応を行います。	法人の規程、取組みに則り職員が連携してお客様の安全確保、情報管理に努めます。定期的な研修、会議への参加、ヒヤリハットの活用、他機関、事業所での事故事例などを通して情報の共有、注意喚起と事故防止に努めます。実際の個人情報取り扱いについては、チェックリスト等を活用し、複数の人員によるダブルチェックを徹底します。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で自分らしく自立した生活が継続できるように支援します。	要介護状態になった方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援してまいります。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】 なし	【その他料金】 なし
職員体制	(管理者) 保健師1名 主任介護支援専門員1名 社会福祉士2名	管理者(主任介護支援専門員) 1名 介護支援専門員 4名 事務職員 2名
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	地域の方々から信頼されるケアプラザを目指します	地域の方々から信頼されるケアプラザを目指します	
実施体制	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 35人	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 12人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額</p>
<p>利用料金</p>	<p>【その他料金】 要支援1:5,272円 要支援2:7,303円 要介護1:6,576円 要介護2:7,122円 要介護3:7,693円 要介護4:8,256円 要介護5:円 【実費】食費(おやつ含む):750円</p>	<p>【その他料金】 要介護1:8,414円 要介護2:8,947円 要介護3:9,482円 要介護4:10,015円 要介護5:10,548円 【実費】食費(おやつ含む):750円</p>	<p>【その他料金】</p>
<p>職員体制</p>	<p>管理者:1名 生活相談員:5名 看護師:6名 機能訓練指導員:6名 介護職員:23名</p>	<p>管理者:1名 生活相談員:5名 看護師:6名 機能訓練指導員:6名 介護職員:23名</p>	
<p>契約者数等</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>

令和5年度「大場地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書(一般会計) <地域活動交流>

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,638,678		17,638,678		17,638,678	横浜市より
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)	259,800		259,800		259,800	
雑入	69,074	0	69,074	0	69,074	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	69,074		69,074		69,074	
その他			0		0	
その他	5,245,500		5,245,500		5,245,500	
収入合計	23,213,052	0	23,213,052	0	23,213,052	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,624,291	0	10,624,291	0	10,624,291	
本俸	5,351,554		5,351,554		5,351,554	
社会保険料	989,269		989,269		989,269	
手当計	674,722		674,722		674,722	
健康診断費	41,728		41,728		41,728	
勤労者福祉共済掛金	624		624		624	ハマフレンド
退職給付引当金繰入額	166,875		166,875		166,875	
その他	3,399,519		3,399,519		3,399,519	
事務費	1,733,733	0	1,733,733	0	1,733,733	
旅費	15,000		15,000		15,000	旅費交通費
消耗品費	216,763		216,763		216,763	事務消耗品、消毒用アルコール、消耗品
会議開費			0		0	
印刷製本費	151,455		151,455		151,455	複合機カウンター料金、コピー用紙、トナー
通信費	405,542		405,542		405,542	郵便、宅配料、電話料、ネットワーク回線
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	45,857		45,857		45,857	車両保険
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	研修受講料
振込手数料	39,695		39,695		39,695	振込み手数料、EBサービス手数料、為替手数料
リース料	366,354		366,354		366,354	会計ソフト、節水コマ、ADサーバー
手数料	317,829		317,829		317,829	入札システム、セキュリティ委託費、産業医
地域協力費	162,364		162,364		162,364	諸会費、電柱広告、広報紙
その他	2,874		2,874		2,874	公用車ガソリン
事業費	597,736	0	597,736	0	597,736	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)	555,736		555,736		555,736	
その他			0		0	
管理費	7,864,064	0	7,864,064	0	7,864,064	
光熱水費	4,747,220		4,747,220		4,747,220	
清掃費	2,039,325		2,039,325		2,039,325	
機械警備費	124,823		124,823		124,823	
設備保全費	952,696	0	952,696	0	952,696	
空調衛生設備保守	569,368		569,368		569,368	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	72,266		72,266		72,266	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	311,062		311,062		311,062	ゴミルート回収
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	21,293,824	0	21,293,824	0	21,293,824	
差引	1,919,228	0	1,919,228	0	1,919,228	

自主事業費 収入	259,800	0	259,800	0	259,800	
自主事業費 支出	555,736	0	555,736	0	555,736	
自主事業 収支	△ 295,936	0	△ 295,936	0	△ 295,936	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	69,074	0	69,074	0	69,074	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	69,074	0	69,074	0	69,074	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和5年度「大場地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書(一般会計) <包括等>

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,129,455		30,129,455		30,129,455	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,868,500		5,868,500		5,868,500	横浜市より
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【包括】			0		0	
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】			0		0	
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】	800		2,378,500		2,378,500	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	2,378,500		2,378,500		2,378,500	
収入合計	38,831,255	0	38,831,255	0	38,831,255	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,783,320	0	30,783,320	0	30,783,320	
本俸	22,552,998		22,552,998		22,552,998	
社会保険料	3,946,071		3,946,071		3,946,071	
手当計	3,343,452		3,343,452		3,343,452	
健康診断費	60,488		60,488		60,488	
勤労者福祉共済掛金	2,874		2,874		2,874	
退職給付引当金繰入額	767,625		767,625		767,625	
その他	109,812		109,812		109,812	
事務費	1,693,035	0	1,693,035	0	1,693,035	
旅費	25,000		25,000		25,000	旅費交通費
消耗品費	274,803		274,803		274,803	事務消耗品、消毒用アルコール、消耗品
会議滞在費			0		0	
印刷製本費	151,455		151,455		151,455	複合機カウンター料金、コピー用紙、トナー
通信費	354,163		354,163		354,163	郵便、宅配料、電話料、ネットワーク回線
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	45,857		45,857		45,857	車両保険
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	研修受講料
振込手数料	39,695		39,695		39,695	振込み手数料、EBサービス手数料、為替手
リース料	457,773		457,773		457,773	会計ソフト、節水コマ、ADサーバー
手数料	259,912		259,912		259,912	入札システム、セキュリテイ委託費、産業医
地域協力費	31,500		31,500		31,500	諸会費、電柱広告、広報誌
その他	2,877		2,877		2,877	公用車ガソリン
事業費	891,800	0	891,800	0	891,800	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【包括】	30,000		30,000		30,000	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】	144,600		144,600		144,600	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】	57,200		57,200		57,200	
その他			0		0	
管理費	2,090,439	0	2,090,439	0	2,090,439	
光熱水費	1,261,913		1,261,913		1,261,913	
消掃費	542,099		542,099		542,099	
機械整備費	33,180		33,180		33,180	
設備保全費	253,247	0	253,247	0	253,247	
空調衛生設備保守	151,351		151,351		151,351	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	19,209		19,209		19,209	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	82,687		82,687		82,687	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	35,584,594	0	35,584,594	0	35,584,594	
差引	3,246,661	0	3,246,661	0	3,246,661	

自主事業費 収入	800	0	800	0	800	
自主事業費 支出	261,800	0	261,800	0	261,800	
自主事業 収支	△ 261,000	0	△ 261,000	0	△ 261,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名:大場地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	6,910		6,910	4,307		4,307	2,855		2,855	71,035		71,035	1,267		1,267	39,030		39,030
	その他	0	0	0	0	0	0	1,220	0	1,220	5,765	0	5,765	126	0	126		0	1,969
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0			0
	認定調査委託料			0			0	233		233			0			0			0
	原案作成委託料			0			0	987		987			0			0			0
	利用料			0			0			0	5,765		5,765	126		126		1,969	1,969
				0			0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	6,910	0	6,910	4,307	0	4,307	4,075	0	4,075	76,800	0	76,800	1,393	0	1,393	39,030	0	39,030
支出	人件費			0			0			0			0			0			0
	事務費			0			0			0			0			0			0
	事業費			0			0			0			0			0			0
	管理費			0			0			0			0			0			0
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	収支 (A)-(B)	6,910	0	6,910	4,307	0	4,307	4,075	0	4,075	76,800	0	76,800	1,393	0	1,393	39,030	0	39,030

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。
 ※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	あおばイキキ元気塾	H23	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の方々にいつまでも元気でいきいきと生活していただき、介護予防に関する知識を広く普及啓発することを目指す。ハマトレの効果、継続して行うことの大切さを伝えることができる。ケアプラザから遠いエリアで行うことでケアプラザの周知や老人会の支援へ繋げることができる。	1:高齢者		ロコモ予防、口腔機能向上、低栄養予防、ハマトレ、ポジティブエイジングなど。5~6月、秋頃に2コース開催予定。		
2	はつらつ体カチェック、結果説明会	H22	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①地域の高齢者が客観的なデータに基づき自身の体力を知り、その後の体力づくり、健康づくりの意欲を高め継続することで健康寿命延伸を目指す。 ②健康づくりが継続できるように家でできる運動を知ることや、地域の様々な介護予防講座への参加に繋げる。 ③はつらつ体カチェックサポーターが改めて体力チェック実施の目的やサポーターとしての役割を知り、スキルアップの機会とする。	1:高齢者		握力や長座体前屈などの項目がある体力測定会、日本体育大学共催。6月、12月頃開催予定。 サポーターの活躍の場として、地域の集いの場に出張して体力チェックを適宜開催。		
3	チームオレンジのモデル実施	R4	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	・地域住民への認知症の普及啓発のため、右記の事業を開催する。「認知症にやさしい街プロジェクト」とキャラバンメイトが連携し、キャラバンメイトの活躍の場を広げる。	5:地域		不定期開催 認知症サポーター養成講座や認知症VR体験会、キャラバンメイト連絡会(キャラバンメイト同士の情報共有や勉強会、)、出張認知症カフェの立ち上げ準備、やさしい街あざみ野実行委員との連携を行う		
4	包括カンファレンス	H18	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーのスキルアップ。関係者間の連携強化。	6:事業者	5	地域のケアマネジャーを対象に、勉強会や交流会、情報提供等を行う。民生委員や医療との連携の場を設ける。隔月開催。		
5	健身操	H24	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	① 地域の高齢者の介護予防につなげる ② 地域での顔見知りを作る	1:高齢者		概ね65歳以上の介護保険サービスを利用されていない方。講師による椅子に座って体の芯を動かせる体操。第2・4木曜日の月2回開催。		
6	スクエアステップ	H28	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	健康寿命の延伸を目指し、概ね60歳以上の元気な方々を対象に、楽しみながら介護予防(転倒予防、認知機能向上)を目的に仲間づくりを行う。	1:高齢者		概ね60歳以上のお元気な方。講師による楽しみながら転倒予防、認知症予防を目的とした体操。第2・4金曜日の月2回開催。		
7	あそびのフリースペース さくらんぼひろば	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の子育て中の養育者と未就園児が互いに交流ができる ②養育者の地域での仲間づくり ③ボランティアを含めた世代間交流	3:養育者及び乳幼児		毎月第1木曜日 多目的ホールでの遊び場 不定期でイベント開催		
8	とっぴんばらり	H20	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止 ②地域の親子の交流の促進	3:養育者及び乳幼児		語り手たちの会：菅野智子氏によるわらべうたで親子のコミュニケーションと子育て支援。わらべうた以外にもおはなし、絵本の読み聞かせ、紙芝居などを行う。 毎月第4火曜日(8月だけ不定期)		
9	銀のつどい	H17	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	①ボランティア活動の活性化 ②地域の高齢者の閉じこもり防止	1:高齢者		65歳以上の方対象のミニデイサービス 毎週金曜日実施 一般開放のイベントもあり。		
10	防災訓練	H30	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	災害時に備え、ケアプラザ職員が役割を把握し、貸館のお客様、地域の方とともに、ケアプラザ内の防災訓練を行う。	5:地域		年2回。地域の方や登録団体の方を交えて、訓練を行う。		
11	全館清掃	H23	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①ケアプラザの貸館利用団体同士の交流 ②登録団体が施設に愛着を持ち、きれいに使おうという意識付けができる	5:地域		年1~2回。地域の方や登録団体の方を交えて、ケアプラザをキレイにする。コロナの状況を見て開催予定。		
12	キッズフワーアレンジメント	H29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①ケアプラザとなじみの薄い就園児または小学生にケアプラザに来館してもらったきっかけづくり ②参加者がお互いの作品を見ながら会話することで、学年を超えて交流できる	4:子ども・青少年		小学校中学年から中学生までを対象母の日と父の日の前週の土曜日に開催		
13	かやのき土曜コンサート	H19	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の音楽家に地域活動に関心をもってもらったきっかけを作る ②地域の方がケアプラザに来館するきっかけづくり ③閉じこもりの防止	5:地域		奇数月の第2か第4土曜日に開催 地域の音楽活動家と地域をつなぐ意味も込めて継続中。		
14	面白科学で工作	H22	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①小学生やその養育者にケアプラザを知ってもらうきっかけづくり ②世代間交流の促進	4:子ども・青少年		7月または8月の夏休み期間に開催。 子供たちの夏休みの自由研究の一環として支援している。		
15	親子でクッキング	H29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の小学生やその保護者にケアプラザに来館してもらったきっかけを作る ②ボランティアと小学生や養育者の世代間交流の促進 ③養育者同士の交流の輪を広げる	4:子ども・青少年		7月の最終週、あるいは8月開催。 地域の料理クラブあるいは、食生活等改善推進員等と共催して親子の食育を含めた活動。コロナの状況を見て開催。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	かやのき祭り	H15	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	① 地域ケアプラザの地域へのPR ② 世代間交流の促進 ③ 地域活動団体を知ってもらう機会とする	5：地域		年1回、11月第3日曜日に開催。地域の方と共同して、ケアプラザを周知し、地域の様々な活動もアピールする。		
17	ほっとサロン青葉出前サロン	R1	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	①精神に障害をお持ちの方や、メンタルヘルスに困っている方々の、身近な地域の居場所になれるように、ほっとサロン青葉が主催となり、共済事業としたカフェの開催。	2：障害児・者	6	年3回程度開催 精神の病気を理解していくために、また地域での身近な居場所になれるための活動。		
18	人形劇公演(仮)	H17	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	① 世代間の理解の促進 ② 子育て中の方が外出し、リフレッシュできる	3：養育者及び乳幼児	5, 7	年1回開催。 子供と養育者が一緒に楽しめる場の提供を軸に継続している。		
19	WITH クリスマス会	H26	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①地域の常設の子育てひろばのPRと地域ケアプラザが子育て中の方が利用できる施設であることの周知 ②地域の子育て中の方のリフレッシュ ③同世代の子を持つ保護者同士が知り合うきっかけ作り	3：養育者及び乳幼児	7	年1回、12月に開催。 子育て広場とコラボレーションして、地域の方々様々な接点をもつ貴重な機会となっている。		
20	小中学生 書初め	H26	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①世代間交流の促進。 ②若い世代にケアプラザを知ってもらい、来館のきっかけづくり。	4：子ども・青少年	5, 7	年1回、1月に開催。 地域のクラブサークル「書遊会」の方と協力して多世代交流の場としている。		
21	ボランティア交流会	H21	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	・大場地域ケアプラザで活動して下さっているボランティアの皆さまとの勉強会と交流会。	5：地域		年1回開催。 大場地域ケアプラザで活動して下さっているボランティアの皆さまとの勉強会と交流会。		
22	幼児安全法	H27	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	・食べ物や詰まらせてしまった時の対処法や、急な意識消失の際の対応等、子育て中の親子の学びの講座。	3：養育者及び乳幼児	7	年1回開催 子育てひろばWITHと赤十字との共催により行う子育て中の親子の学びの講座		
23	発達障がいとグレーゾーンを考える(仮)	R4	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①発達障がいやグレーゾーンの種類や特徴を知ること、地域の子供達への理解を深める。 ②対象児童への対応や地域で育てる環境づくりのヒントを探る。	2：障害児・者	3, 4, 5, 6,	地域の養育アドバイザーやリミック指導者を講師に迎え、区子ども家庭支援課と美しが丘・たまプラーザCPとの共催により、山内地区の子育て中のお悩みに応える事業を開催する運び。		
24	デジタル講座	R4	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	①地域の方(主に高齢者)向けにスマホ操作を学ぶきっかけづくり。 ②スマホを使いこなすことによる、積極的な地域の方との交流の手助け。	5：地域	1	昨年のZOOM講座に続き、今年度は生活に身近なスマホを使いこなせるようになる講座を企画。最終的にQRコードを読み込み各種手続きを行ったり、検索で便利に調べたり、ラインで連絡を取り合ったり出来るようになることが目標。		
25	勉強お助け隊	R3	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	①小学生やその養育者にケアプラザを知ってもらうきっかけづくり。 ②多世代交流の促進。	4：子ども・青少年	6, 7	長期休暇(夏休み、冬休み等)中の余暇活動として、青少年の地域活動拠点『あおばコミュニティ・テラス』のサポートにより、多世代交流を兼ねた学習支援。		
26	パラスポーツを楽しむ	R4	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	①ハンディキャップの有無や年齢その他に関わらず多様性を受け入れ、スポーツを通じた共生社会(友達作り)と生涯スポーツ社会を目指した地域づくり。 ②スポーツとおした団体や自治会との繋がり。	5：地域	1, 2, 4, 6, 7	横浜市さわやかスポーツ(一心会会長)とともに、地域の方々とパラスポーツを楽しむ。		
27	キャンドルホルダーワークショップ	R3	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	①キャンドルホルダーを通じ認知症の講座を行うことで認知症への理解を深め、認知症に優しい街づくりを目指す。 ②子供達やその養育者、高齢者、自治会等、世代を超えた多世代交流による助け合いの精神を育む。	5：地域	1, 4, 6, 7	やさしい街あざみ野実行委員との取り組みのひとつ『認知症にやさしい街あざみ野』の取り組みとして昨年よりスタートした事業の継続。		
28	オーラルフレイル予防講座	R3	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	口腔内を健康に保つことは身体全体の健康にも繋がることや口腔ケアの大切さを伝えることができる。	1：高齢者	5	歯科医師によるオーラルフレイルの危険性や口腔ケアの大切さについての講演(Zoomで別会場と中継)。5月に開催予定。		
29	大場ウォーキングの立ち上げ支援	R4	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	個人でもグループでもでき、場所を問わずできるウォーキングを定期的に行うグループがケアプラザ近くになく、グループ化を目指すことでロコモ予防や社会参加に繋げる。	1：高齢者		青葉区ウォーキングマップに沿って可能な限り毎月ウォーキングを実施。		
30	認知症カフェかやのき	H29	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	・認知症ご本人や家族が安心して参加でき、必要に応じて相談ができ、地域の方、専門職、ボランティアなど様々な人が認知症についての情報交換ができる定期的な場づくり。 ・認知症サポーターの活躍の場づくり。 地域を対象に認知症への理解につながる講座を実施することで、地域ぐるみで認知症の方を支えることができるようにする。	5：地域		ゲストスピーチ、情報交換、体操などコロナ禍で開催可能な内容 毎月第1木曜日13:30～		
31	認知症サポーター養成講座	H20	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み		5：地域		認知症サポーター養成講座の実施		
32	介護者の集い	H18	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	家族を介護している方、家族を介護した経験のある方を対象に介護に関する話題について勉強する。また介護者同士が意見交換することにより、介護の現場で役立つ情報を相互に得る事ができる。	5：地域		毎月1回(第4水曜日)開催		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
33	終活講座	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	将来への備えについて学ぶことで、今後の人生を不安なく、より良く生きていける地域住民が増える。	5:地域		全3回で各回テーマを決めて開催する。		
34	エンディングノート講座	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	意思決定支援ツールとしてのエンディングノートの内容や書き方について周知を図る。	5:地域		年1回講座を行う。		
35	認知症予防講座	R4	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	健康チェックや認知機能チェックを通して、若い世代(40～60代)に健康意識を高め、ケアプラザに足を運んでもらう機会となる。	5:地域		桐蔭横浜大学共催 40～60代向け 健康チェック、認知機能チェック		